



決め手は、青森県産。

りんご生産情報第12号
(10月9日～10月23日)

令和2年10月8日発表
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

樹上選果マン



ジョナゴールドの熟度はほぼ平年並み!
収穫は有袋果で10月13日頃、無袋果で10月15日頃から!!
風害防止対策の徹底を!!!

I 概 要

10月1日現在の果実肥大は、概ね順調である。

10月7日現在、ジョナゴールド（無袋）の熟度の進みはほぼ平年並みなので、収穫始めは、黒石で、有袋果が10月13日頃、無袋果が10月15日頃と見込まれる。

今年は輪紋病の被害果が各地で見られているので、被害果は選果先の基準にあわせて選別する。

果実疫病の感染を防ぐため、果実に泥が付着しないように注意する。反射シートを片づける際に土を飛散させたり、降雨時の収穫や収穫果の野積みをしない。

防風網やわい性台樹の結束などを再度点検し、補強を行うなど、風害防止対策をしっかりと行う。

Ⅱ りんご生産情報

1 果実肥大、果実熟度、作業の進み

(1) 果実肥大

10月1日現在、果実肥大は概ね順調であり、平年並みから平年をやや上回っている。

果実肥大 (10月1日現在、横径：cm、平年比：%)

地 域	年	ジョナゴールド	ふ じ
黒 石 (りんご研究所)	本 年	9.8	8.7
	平 年	9.0	8.5
	前 年	9.1	8.3
	平年比	109	102
青森市浪岡吉内 (東青地域県民局)	本 年	-	8.4
	平 年	-	8.2
	前 年	-	8.6
	平年比	-	102
弘前市独狐 (中南地域県民局)	本 年	9.0	8.6
	平 年	8.8	8.4
	前 年	9.1	8.9
	平年比	102	102
板柳町五幾形 (西北地域県民局)	本 年	9.3	8.5
	平 年	9.3	8.4
	前 年	9.2	8.9
	平年比	100	101
三戸町梅内 (三八地域県民局)	本 年	8.5	8.2
	平 年	8.8	8.2
	前 年	8.5	8.6
	平年比	97	100

※各県民局のデータは農業普及振興室の生育観測ほ調査データ

(2) 果実熟度

ア ジョナゴールド（無袋）

10月7日現在、平年値と比較して、酸度はやや高く、ヨードでんぷん反応指数は同程度、硬度及び着色指数はやや低く、糖度は低い。総合的に見て、熟度は平年並みである。

ジョナゴールド（無袋）の熟度の進み (10月7日現在)

地域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応
黒石 (りんご研)	本年	375	1.9	15.1	12.7	0.556	2.5
	平年	334	2.4	15.7	13.5	0.531	2.4
	前年	332	2.7	14.8	15.2	0.529	2.8

- 注) 1 平年は1996年～2015年までの20年平均
 2 着色指数 : 0～5 大きい数値ほど着色良好
 3 ヨード反応 : ヨードでんぷん反応指数0～5
 小さい数値ほどでんぷんが少ない

イ ふじ

有袋ふじは、10月7日現在、平年値と比較して、硬度、糖度、酸度、ヨード反応及び着色指数は低い。

無袋ふじは、10月7日現在、平年値と比較して、糖度はやや低く、硬度、酸度、ヨード反応及び着色指数は低い。

ふじ（有袋）の熟度の進み (10月7日現在)

地域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応	蜜果率 (%)	蜜入り 程度
黒石 (りんご研)	本年	312	1.2	15.5	11.6	0.351	3.1	0	0
	平年	290	2.6	17.2	12.1	0.414	3.5	4	0
	前年	270	2.1	16.2	12.9	0.442	3.9	0	0

- 注) 1 平年 : 2003～2019年までの17年平均
 2 除袋日 : 9月24日外袋、29日内袋
 3 蜜入り程度 : 0～4 大きい数値ほど蜜発生大

ふじ（無袋）の熟度の進み (10月7日現在)

地域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応	蜜果率 (%)	蜜入り 程度
黒石 (りんご研)	本年	315	1.1	15.4	12.1	0.366	3.0	0	0
	平年	298	1.8	17.3	12.4	0.425	3.5	26	0.2
	前年	277	1.4	16.3	13.4	0.475	4.0	0	0

- 注) 平年 : 1996～2015年までの20年平均

(3) 作業の進み (10月6日現在)

収穫はトキがほぼ終了し、早生ふじが終盤を迎えている。

ジョナゴールドは除袋や葉摘みが終了した。

ふじは除袋がほぼ終了し、葉摘みなどの着色管理が行われている。

2 作業の重点

(1) 中生種の収穫

ア ジョナゴールド

収穫始めは、熟度の進みから判断して、黒石中心で有袋果が10月13日頃、無袋果が10月15日頃からと見込まれる。有袋果は10月20日頃まで、無袋果は10月25日頃までに収穫を終える。

収穫時期が早すぎると、酸味が強すぎるばかりでなく、貯蔵中のビターピットの発生が多くなり、遅すぎると、無袋果では油あがりや貯蔵中の軟化、ゴム病の発生が多くなるので、適期に収穫する。

ジョナゴールドの収穫時の標準指標

	食味	糖度 (%)	ヨード反応	硬度 (lbs)
有袋	3以上	13以上	2.5以下	15~17
無袋	3.5以上	13.5以上	2以下	14~16

注) 食味: 0~5 大きい数値ほど食味良好

イ シナノスイート

収穫時に地色が黄色く、油あがりが見られる果実は、心腐れ果の可能性が高いので、見つけ次第摘み取る。

なお、平年の収穫始めは、10月10日頃である。

シナノスイートの収穫時の標準指標

食味	糖度 (%)	ヨード反応	硬度 (lbs)
4以上	14以上	2以下	13~15

ウ 千雪

収穫は、果皮色が濃紅色になった頃で、着色が揃わない場合は2回に分けて行う。

なお、平年の収穫始めは、10月18日頃である。

千雪の収穫時の標準指標

食味	糖度 (%)	ヨード反応	硬度 (lbs)
4以上	14以上	1.5以下	17~19

(2) 中生種の収穫後の管理

収穫後すみやかに冷蔵施設への搬入や出荷を行う。ただし、千雪は、収穫後直ちに冷蔵庫に搬入すると軟性やけ症が発生しやすいので、収穫後に10℃程度の環境で5～7日間保持してから冷蔵庫に搬入する。

(3) 晩生種の着色手入れ、樹上選果

葉摘みと並行して、果実に十分日光が当たるように、支柱の位置を動かしたり、小枝を縄で吊り上げたり、不要な徒長枝を切り取る。

また、大きさや形が悪い果実、病虫害被害果、障害果は摘み取る。なお、摘み取った果実は適正に処分する。

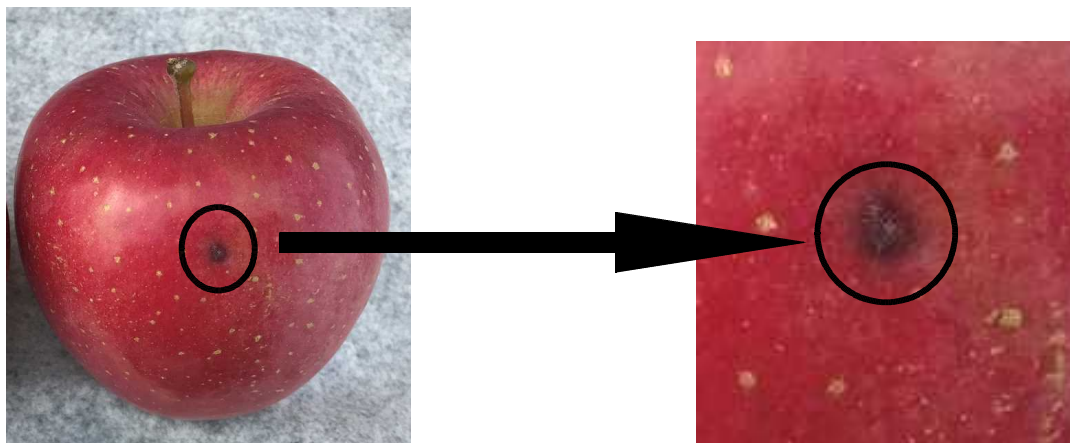
有袋果は、除袋後、丁寧に見直しを行う。

(4) 病虫害対策

ア 輪紋病

本年は、樹上での被害果が各地で見られている。6月下旬から7月中旬の降雨により感染し、8月中旬以降の高温で腐敗が進んだと考えられる。

被害果の中には、果点に小さな褐色斑点が見られているものもあるので、出荷先の選果基準にあわせて選別する。



果点に発生した輪紋病の症状

イ 黒星病

黒星病の発生は少なめに推移しているが、葉摘み等の作業の際に、発病葉・発病果や、二次伸長葉に黒星病の発生が見られた場合は、来年の感染源となるので、必ず摘み取って処分する。

ウ 果実疫病

(ア) 収穫直前まで

反射シートを片づける際には、土を飛散させないようにし、りんご樹にかけて干さない。収穫用のかごや箱の土は、あらかじめ洗い落としておく。

(イ) 収穫時

降雨時の収穫は行わない。やむを得ず収穫する場合は、果実に泥が付着しないように注意する。

落果や収穫の際に落とした果実は、収穫果に混入させない。

(ウ) 収穫後

収穫果は、野積みしない。

エ 腐らん病

胴腐らんの治療部を再点検し、病斑の伸展が見られる場合は、直ちに適切な処置をする。

オ モモシンクイガ

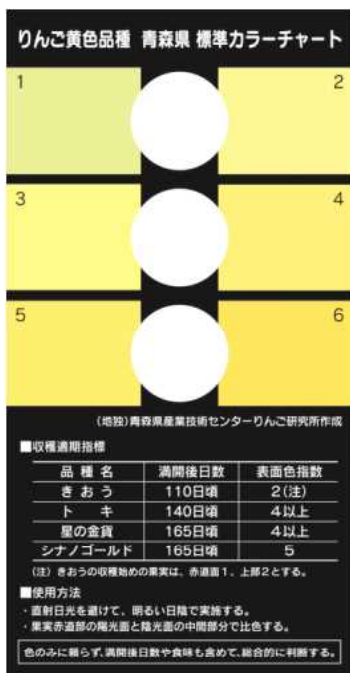
本年はモモシンクイガの産卵が長引いたため、被害果の発生が懸念される。

被害果を流通させないために、収穫した果実は選果時に徹底して選別する。

特に台湾向けりんごの選果にあたっては細心の注意を払う。被害果は見つけ次第、7日以上の水漬けなど適切に処置する。

(5) 晩生種の収穫

星の金貨、シナノゴールドなどの黄色品種は、収穫時期の判断が難しいので、食味や「りんご黄色品種青森県標準カラーチャート」などを活用し、適期に収穫する。なお、平年の収穫始めは、星の金貨が10月25日頃、シナノゴールドが10月26日頃である。



写真↑カラーチャートシール（りんご黄色品種青森県標準カラーチャートをシール化したもの）

←写真 りんご黄色品種青森県標準カラーチャート

※お問い合わせ先：公益財団法人青森県りんご協会
電話 0172-27-6006

ア 星の金貨

樹中の平均的な果実の表面色指数が4から5に達してから収穫を行う。

なお、表面色指数5以上の果実は、食味は良いが長期貯蔵に向かないので、年内販売とする。大玉果は軟化やビターピットの発生が懸念されるので、長期貯蔵用としない。また、収穫が遅れた果実は貯蔵後にかくあ部の裂果を生じる場合がある。

星の金貨の収穫時の標準指標

食味	糖度 (%)	ヨード反応	硬度 (lbs)
4以上	14以上	2.5以下	14~16

イ シナノゴールド

表面色指数5の果実が全体の半量に達してから収穫を行う。

収穫時期が早すぎると酸味が強く食味が劣り、遅すぎると油あがりが多くなるので適期に収穫する。

シナノゴールドの収穫時の標準指標

食味	糖度 (%)	ヨード反応	硬度 (lbs)
3.5以上	14以上	1.5以下	14~16

(6) 風害防止対策

台風などの強風に備え、防風網やわい性台樹の結束などを再度点検し、補強や取り替えを行う。

また、幹や主枝などに空洞が生じている樹や、腐らん病の被害等を受けた枝や樹は、支柱で支え、縄などで補強する。わい化樹や幼木は倒伏しやすいので、支柱を立てて結束する。

(7) 鳥害防止対策

ムクドリ（サクラドリ）、ヒヨドリ、カラスなどの被害が大きいところでは、防鳥網を使用する。なお、防鳥網の網目は、35mm以下とする。

(8) 野ネズミ対策

野ネズミの繁殖期なので、エサとなるりんごや野菜の残渣等を放置しない。

3 今後の作業予定

- (1) 晩生種の着色手入れと収穫 (2) 果実疫病対策 (3) 風害防止対策

《 農薬使用基準の遵守 》

農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認する。

また、短期暴露評価の導入により使用方法が変更される農薬は、登録内容の変更前であっても、変更後の使用方法で使用する必要があるため、変更の有無を次のWebサイトで確認してから使用する。

○農林水産省「農薬情報」 http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/

○(独)農林水産消費安全技術センター「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

○青森県農業情報サービスネットワーク「アップルネット」農薬情報

<https://www.applenet.jp/>

農薬の使用にあたっては、事前に周辺住民に対し、農薬の散布日時や使用者の連絡先等を十分な時間的余裕を持って知らせる。また、農薬の飛散により、周辺作物や近隣の住宅等に被害を及ぼすことのないように農薬飛散低減対策に留意して散布する。

《 農業保険に加入し、農業経営に万全の備えを！！ 》

農業保険には、果樹共済、農業経営収入保険などがあります。自分の経営にあった保険を選択、加入して、自然災害をはじめとしたリスクに備えましょう。

◎農業経営収入保険

「農業経営収入保険」は、災害による減収に加え、市場価格の低下など農業者の経営努力では回避できない理由により販売収入が減少した場合も補償の対象になる総合的なセーフティネットです。新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した場合も補償の対象となります。（青色申告の実施が要件）

令和3年の加入に係る申込期限は、継続加入の場合は11月30日（月）、新規加入の場合は12月28日（月）です。必要書類等詳しいことは、お近くの農業共済組合までお問い合わせください。

《 「あおり9」の生果実流通 》

現在、「あおり9」は「彩香」の商標名で販売されていますが、令和7年10月27日で商標の使用契約が満了となり、「彩香」を使用できなくなります。

ついては、令和7年10月27日以降は、「あおり9」で販売してください。

周辺住民及び作物に農薬が飛散しないよう留意して散布しましょう！

機械やはしごを使う際には、事故のないよう十分注意しましょう！

園地を見回るなど、りんごの盗難に注意しましょう！

次回の「りんご生産情報」第13号は10月23日（金）発表の予定です。

連絡先 : りんご果樹課生産振興グループ
電話番号 : 017-722-1111代表
 内線 5097, 5092
 017-734-9492直通